

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.90

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業	担当部署	経済建設部 下水道課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	水質汚濁防止法、循環型社会形成推進交付金交付要綱、徳島県浄化槽整備事業補助金交付要綱、鳴門市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、鳴門市環境基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成	5 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと					
(小項目)		生活排水対策					
施策	3	生活排水対策の推進			終期	未定	
基本事業	3	合併処理浄化槽の普及促進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①生活環境の改善と水環境の保全 ②合併処理浄化槽の普及		事業内容 (R1)	前年度と同様に、補助事業を実施するとともに、水環境の改善や単独処理浄化槽・合併処理浄化槽の違いや転換への補助制度など生活排水処理に関する内容について、広報なると等を通じて、啓発活動に努めた。				
実施方針	①合併処理浄化槽への転換補助の実施 ②汚水処理人口普及率の向上を図る。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	転換補助申請受付数	29	29	29	29	29	基
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	転換補助基数		14	26	29	29	29	基

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③県環境技術センターと連携し、単独処理浄化槽の法定点検時や、市内量販店において啓発パンフレットの配布。	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布。	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③「鳴門のまつり」の時、啓発パンフレットを配布。	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、補助金の新設と増額改定を実施予定。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定。 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定。	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、前年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定。 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定。
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	修正予算額・繰越額等	全体予算額		
		10,906	△ 4,790	6,116	17,439	17,439

事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		前年度と同様に、合併処理浄化槽への転換に係る補助事業を実施した。また、普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示。鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示。「鳴門のまつり」の時には、啓発パンフレットの配布を実施した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	転換補助申請受付数	26	14	29	29	29	基
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	転換補助基数		26	14	29	29	29	基
	目標達成率(実績/目標)			48.3				%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		9,446,204	0	5,310,912	0	5,310,912	
	財源内訳	国庫支出金	1,873,000	0	4,281,000	0	4,281,000	
		県支出金	2,456,000	0	1,108,000	0	1,108,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		5,117,204	0	△ 78,088	0	△ 78,088		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	転換補助基数		成果指標に対する所見	<p>転換のタイミングとしては、既存の単独処理浄化槽が壊れた時、家族構成やライフスタイルの変更によるリフォーム時に実施される場合が多いが、R1年度は例年に比べ件数が少なかった。令和2年度からは、既存の補助制度の増額や、新たな国の制度を活用し、配管工事費の補助制度を新設し、それを実施していくことで、普及促進に向けた取り組みを強化し、目標に近づきよう転換補助基数を増やしていく。</p>		
	目標	29	基				
	実績	14	基				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	汚水処理人口普及率の向上に向け、個別処理の大半を占める単独処理浄化槽等を合併処理浄化槽に転換していく必要があるが、転換には多額の個人負担を伴うことや、各家庭における設置スペース等の確保が困難な場合もあり、事業促進は容易ではない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。			
	令和3年度	令和2年度と同様に、補助事業の推進と啓発活動に積極的に取り組んでいく。			